

皇國民的性格の啓培を目標せる 保育の實際

新潟縣長岡女師附屬幼稚園保姆

桑原きよみ

一、國民學校令の根本精神ニ幼児保育

日本の國體の本義に基き、皇道精神を發揚せんことを、教育系統全體を一貫する根本原理であると思ひます。高度國防國家を擔ふて臣道の實踐を完からしめるには、幼少なる時代の薰陶保育が最、大切であり、この意味からして幼稚園保育の重要さが痛感されるのであります。昨年より實施せられた國民學校令の根本精神は、單に國民學校にのみ通ずる斷片的なものではなく、上は大學より下は幼稚園までの教育系統に適用され、流通する、謂はゞ國民教養の中心をなすものであると考へます。しかも幼児保育は、其中核的な國民學校教育に直ちに連續するものであり、其の重要なる基礎であるをすれば、幼兒期の保育の重大さが深く認識されるのであります。私達は國民學校令の根本理念を把握して、それに基く保育をなさねばならぬと思ひます。

現在の幼稚園令が發布されたのが大正十五年四月であり

ますから、幼稚園令も亦改められるべき時期に到達してゐるのでありますが、附屬幼稚園では幼稚園令の改められるまで次の様な保育の方針を樹てそれに基づいて日々の保育を行つてゐるのであります。

二、保育の方針

- 1、保育全般に亘りて皇國の道を感じせしめ特に國體に對する信念を厚ふし皇國民たるの歡喜に浸らしむること。
- 2、敬神崇祖の念を培養し滅私奉公の氣風に向ふべき素地に培ふこと。
- 3、我が國特有の文化に親しみ東亞世界の情勢に關心を持たしめ皇國の地位ニ使命を感じせしむること。
- 4、幼兒の保健に留意し健全なる身體の育成に努むること。
- 5、大自然の惠澤に浴せしめ之に對する興味を喚起し觀察力を養ふと共に科學的精神の萌芽を啓培すること。

- 6、幼児の個性及び發達段階に應じて天賦の智能啓培並に之が誘導に努むるに共に工夫創造の萌芽を養ふこと。
- 7、心身を一體として保育し特に躰を重んじ情操を醇化して將來皇國民としての圓滿なる人格の素地育成に努むる事。
- 8、日常保育は各保育項目の聯關を圖り幼児の生活に即して具體的實踐的ならしめ特に禮法儀式行事を重んずる事。
- 9、團體訓練を重んじ共同的精神を養ふに共に大國民的態度の養成に努むること。
- 10、家庭との連絡を密にし之が指導改善につこめ以て幼児保育の完全を期すること。(東京市保育の研究參考)

三、幼兒觀

茲で考へなければならぬ事は、幼兒期の子供は未だ心身共に幼弱であつて時々刻々に旺盛なる發育をなしつゝあるものであるから、幼兒期本來の育て方を、誤らぬ様に注意しなければならぬこと云ふ事であります。幼兒期に少年期との混同や誤認を戒むべきは勿論、懽つたり、無理な要求をしたり、幼稚園の効果を直ちに認めしめんとするやうな不自然な保育に陥らぬやうに注意しなければならぬと思ひます。

文部省圖書監修官竹下直之氏は國民科修身ヨイコードモ編

纂趣旨の中に、兒童觀に次の三通りあること云つて居られます。

(1) 子供を小さな成人として考へ 觀方

これは兒童の生活、兒童の實踐行爲を云ふ點で影が薄いからいけないこと云つて居られます。即ち子供に期待し、子供に要求する事が多い時は、子供を大人の世界に引上げやうとし、大人の尺度から「あゝでもない。かうでもない」。子供をせきたて、いためつけたりしますが、かうした成人の生活にあてはめることは、子供の子供らしい生活を無視する事になり易く、子供はいぢけた姿になつてしまひます。

(2) 子供は成人とは全然異つた世界に住むものであること考へ 觀方であつて、これは自由主義的な子供觀であつていけないこと述べて居られます。即ち從來子供をみる人の中には「子供は天真爛漫である。子供の生活は實に天國のやうに美しい。出来るだけ成人が手を觸れない方が立派な人間となる」。こと云ふ考へ方をして來た人が少くありません。かゝる考へ方からすれば、放任主義となり、自分のやり度い事は他人の迷惑になつてもよいこと云ふ様な事になります。そこで「ヨイコードモ」の「兒童觀は、

(3) 「子供は子供として成人と異つた世界に住むが併し將來は、日本の中堅國民となるべきものである」。こと云ふ觀

方に立つべきであり、この兒童觀によつて、飽くまで羨ける云ふ建前がこられなければならぬ。

こ述べて居られます。幼兒も亦この考へのもこで羨けられなければならぬを考へて日々の保育をなしてゐる次第であります。

四、皇國民的性格の啓培

1、環境の整理

2、祝祭日の儀式重視

3、社會的行事、年中行事、神社の祭日等の中に國家的國民的精神を交流せしめる。

4、時局を幼稚園内に反映せしめる。

從來の幼稚園は専ら子供の興味に投じ、如何にして無理のない保育を施し心身を發育せしめるか、如何にして子供らしく取扱ふか、云ふ保育の方法技術に關する事にのみ意をそゞぎ、魂の啓培云ふ事にまでは至つてゐなかつた傾向があつたのではないでせうか。そこには現下の息づまる様な國家的國民的感情が滲透せず、唯幼兒達の楽しい別世界ののみが求められてゐたやうです。例へば歌詞の内容にしましても古くからある童歌は別しまして、何の事か譯のわからぬ氣分本位のものであつたり、鑑賞畫も畫中の人物が日本の子供か西洋の子供か區別の出來ぬものもありまゝです。又桃の節句、端午の節句、お月見等色々な飾り物をし

て傳統的な氣分に浸りつゝ楽しい一日を過す事はまことに美しい事ではありますが、其の傳統的なものが現在の生活との間に精神的交流を缺いてゐないでせうか。

以上の點は、現時の教育改革の根本方針に基いて再検討し、不知不識の間に幼兒の生活を總て皇國の道に歸一せしめ、皇國民民としての基礎的啓培を行ひ得るものに改めなければならぬと思ひます。之が爲には園内に一つの精神的中心がなければならぬを考へますが、今日の幼稚園では御眞影も勅語も奉戴を許されませぬので、私共の園では、皇大神宮の大麻奉齋殿を設けて、之を保育の中心と致して居ります。そして朝夕拜せしめ、皇祖の大御稜威の下に、國家的國民的題材を適當に統合し、幼兒の生活の中に生かして行き度いと思ふのであります。

又國家的祝日の儀式の際には師範學校の講堂で嚴肅な雰囲気になりつゝ御影を奉拜し、直ちに園に歸つて其の嚴肅な氣分の壞れぬうちに、儀式的、由因を幼兒にわかる様に話してきかせたり、面白い中にも國體の尊さも知られる神話等いたしました。

昔大楠公の大精神が幼い小楠公の童心に培はれて行つた事を想ひ起す時、戦線銃後に於ける國民の實感や體驗を幼稚園にも導入して、幼兒の童心に盡忠報國の精神を啓培したいと思ひます。皇軍の奮戦狀況を知らせる爲に保育室の

壁面に大東亞戰局地圖に幼児の喜ぶ飛行機、日の丸の旗等を書込んで飾り、又附屬國民學校の映寫會には、幼児も一緒に見せてもらつたりして居ります。幼児に對しては、知識として教へても理解出來ぬものが多いのでありまして、すべて經驗を経なければなりません。そこで時には赤十字病院へ傷病兵慰問に行きます。各自の製作品を持ち、歌や遊戯を御覽に入れて喜んでいただくのですが、かうした事が回数を重ねる度に極立つて良くなる子供が出ます事をうれしく思つて居ります。

5、躰の重視

子供が立派な成人となり國家を擔うて立つには、子供の時から育てられ、訓練され、鍊へられなければなりません。子供が生れてから數年の間が人間としての性格を作るに力強い働を持つ時期なのでありまして、三つ子の魂百までと言はれてゐる如く、成人になつても立派な性格を持つか、歪んだ性格を持つかの區別は、既に國民學校入學前の幼児期に於ける育ちによつてきまつてゐる云つてもよいのであります。幼児期は實に性格の基礎工事の時期なのであります。この大切な時期を家庭或は幼稚園の手にゆだねられるとすれば、家庭或は幼稚園は子供の修鍊の道場である云はねばなりません。そして其の方法はあくまで遊びを通して行はねばならぬと思ひます。

將來興亞の大業を負うて立つべき實質剛健、強固な意志と自信をもつて、萬難を排除して邁進する如き性格を持つ第二國民を得る爲には、幼少の頃から自然本能に對する無意味な抑壓を避けて、内面から溢れ出づるも、謂はゞ衝動的な生命の根源力までも云ふべきものゝ旺盛な發動を促がすことは性格構成上必要な事と存じます。躰といふ美名にかくれて、さかく成人の立場から、幼児の日常にまで干渉し、「靜かにしてゐなさい。泥いぢりしたり相撲をこつたりして著物を汚してはなりません。」とか云つて、なるべく室内に靜かに繪本を見たり、繪を書いたりするやうにしむけ、早熟な意志薄弱の子供をつくつてはならないと思ひます。私共の幼稚園では、出来るだけ積極的に友達同志で嬉戲せしめ、樹上へ登つても、泥いぢりしても、組打をしてあまり干渉せずに逞しく旺盛に遊ばせ、さうする事によつて豊かな生命力の活動を促し、如何なる困難にも耐へ得る強き意志を鍊へて居ります。細かい事に干渉せず逞しく遊ばせてこそ、幼児持前の筋肉力、神経力が自然に發育しそこに生命は本來の姿を生々息むこまなく展開させ、正氣に満ちた氣質性格が自然に歪められずに伸びる事が出来ると思へます。最近私共の幼稚園では、衣服の汚れを氣にしないで講習いたしましたして、廢物利用を兼ねる事に致しました。

私共はこの様にして幼児の自然の傾向に對して、徒らなる抑壓を避け、生命の豊かな發動を希つてゐます。然しこの事は、一切の自然傾向を其のまゝ是認する事ではありません。幼兒は純眞ではありませんが幼兒の一切の自然的欲求をそのまゝ伸すことは、必ずしも完全なる皇國民への道ではありません。

子供は、面白かつた、賞められてよかつた云ふ事を善し考へ、叱られた、怒られた云ふ事を惡し考へ、これによつて善惡をおぼろに理解してゆくのでありますから、私共の幼稚園では、しなければならぬこと、してはならぬ事の數を少く制限いたしました。それだけは徹底的にやらせ、我儘は決して許さず、依頼心を除く様に努めてゐます。

遊び道具の後仕末は例外なくみんながやらねばなりません。晝食後の机上床の清掃等は當番の者が責任を持つてやります。朝會の際、不眞面目の者は何回でもやり直しをさせます。かくする事により、自から制する意志の働が培はれ、素直に命令に服従する習慣もつき、又自信もつくと思ひます。

五、健全なる身體の育成

高度國防國家建設の第一條件は、實に國民の健全なる身體の育成である事は今更申上げるまでもない事と思ひます。健全なる身體の育成は幼兒期に於て最も注意を要する

こと考へます。幼少であればある程、身體の育成に細心なる注意を必要とする事は、當然であります。幼兒の生活は遊びを主體とします。遊びの生活は心身一體の生活でありまゝ。従つて幼稚園保育の如何なる分野にあつても、身體的な養護鍛鍊を切り離すことが出來ぬのは當然であります。

六、結び

幼稚園の保育の本質は、唱歌、遊戲、其の他の知識を、母親のまごにゐる時よりも、もつと計畫的に、合理的に教へる事にあるのでなく、眞の皇國民としての性格啓培に努めることでもあります。何よりも日本人である事の意識を持たせ、日本人としてのよろこびを感じさせる事、國家が何を要求してゐるかに眼をそゝいで保育の目標を明かにし、しかも我が手にある幼兒については、温かい愛をもつて靜かに之を眺め、子供の直接觸れる事柄に就いて幼兒は幼兒なりに實踐的に訓へ導き、練へて行かねばなりません。しかも幼稚園だけに限られる事なく、家庭と連絡して、幼兒の毎日の生活に於て辛苦に耐へて目的を果す強い意志を練へられる様に、又子供達相互の社會生活に於て、國家への協同奉公の精神を深く身に浸みるやうに鍛鍊されなくてはならぬと思ひます。